

第1章 マクロ経済学の復習 (1) : AD-ASモデル

応用マクロ経済学 2



教員：奴田原 健悟

<http://www.kengonutahara.com/teaching>

第1章のアウトライン

第1章の授業でやること

- 1 長期 vs. 短期
- 2 総需要・総供給モデル

教科書との関係

- ▶ 「マンキューマクロ経済学Ⅰ（入門篇）」（東洋経済新報社）の第8章（第3版は第7章）

マクロ経済学の視野 (1/2)

長期：古典派マクロ経済学

- ▶ 価格が _____
- ▶ 資本と労働の供給量は一定、技術も一定

短期：ケインズ経済学

- ▶ 多くの価格は _____
- ▶ 資本と労働の供給量は一定、技術も一定

マクロ経済学の視野 (2/2)

超長期：経済成長理論

- ▶ 価格が伸縮的
- ▶ 資本・労働の供給量が時間を通じて _____
- ▶ 技術も _____

← 後期の授業で扱う予定

長期 vs. 短期 (1/2)

長期では

- ▶ 価格が伸縮的なので、生産に投入される資本・労働（需要量）は、 _____ と等しい
- ▶ 生産（実質 GDP）は _____ で決定
 - ★ （資本と労働の供給量） & （生産技術）
- ▶ 需要（たとえば財政政策）の変化：実質利子率 r には影響するが、実質 GDP（所得 Y ）には影響なし
- ▶ 金融政策による貨幣量 M の変化：価格水準 P に影響を与えるが、実質 GDP（所得 Y ）には影響なし

長期 vs. 短期 (2/2)

価格が硬直的な短期では、生産や雇用は
の影響も受ける

- ▶ 財政政策 / 金融政策 / 消費 C や投資 I の外生的変化

ジョン・メイナード・ケインズ (1883-1946) の
有名な言葉 (『貨幣論』):



“Long run is a misleading guide to current affairs.
In the long run, _____.”

2. 総需要・総供給 モデル

総需要・総供給モデル

総需要・総供給モデル：

- ▶ _____ と GDP との関係を、ミクロ経済学の

需要・供給モデルに模したもの
(_____ ともいう)

長期と短期で金融政策の効果にどのような違いが
できるかを分析

総需要 (1/3)

総需要曲線 (Aggregate Demand curve) :

と経済の総需要の関係を表す

(AD 曲線ともいう)

もっとも簡単な AD 曲線 : 貨幣数量説

M : 貨幣、 V : 貨幣の流通速度、 P : 物価、 Y : 実質 GDP (総需要)

⇒ 総需要 Y と物価 P は _____ の関係

- ▶ 貨幣量と流通速度 (貨幣の使用回数) が一定なら
物価の上昇は総需要を _____ させる

総需要 (2/3)

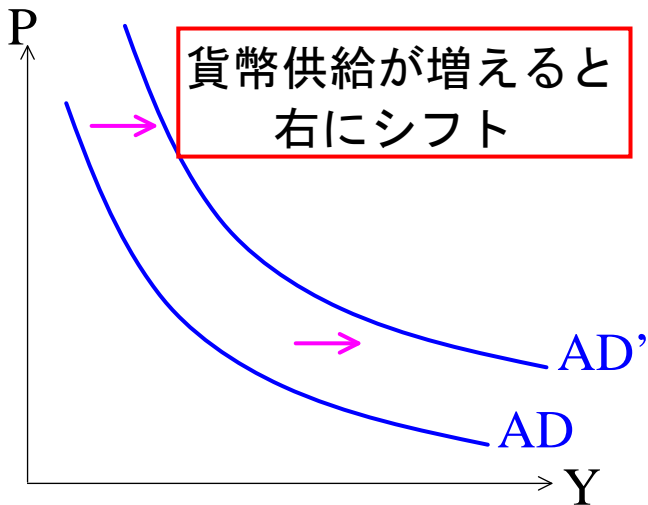
金融緩和（マネーサプライの増加）の効果：

$$\text{総需要曲線：} \quad M \times \bar{V} = P \times Y$$

⇒（物価 P 一定の下では）総需要 Y が

-
- ▶ 総需要曲線が _____ にシフト

総需要 (3/3)



長期の総供給 (1/2)

長期の総供給曲線 (Long-Run Aggregate Supply curve) : 物価水準と経済の _____ の
長期の関係を表す (LRAS 曲線とも書く)

長期では、生産は供給サイドで決まる

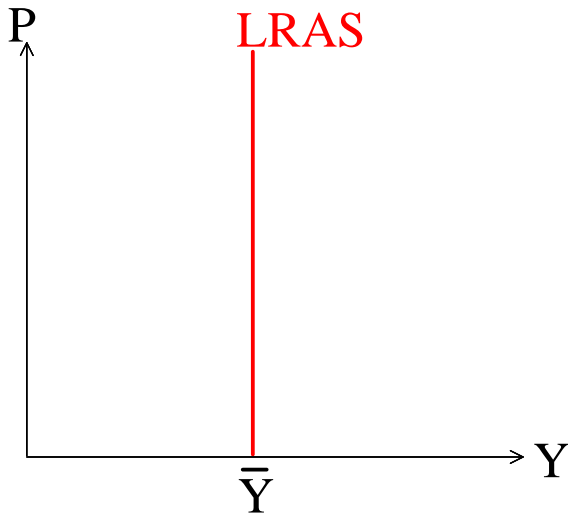
$$\bar{Y} = F(\bar{K}, \bar{L})$$

但し、 \bar{K} : 資本供給量、 \bar{L} : 労働供給量、 $F(\cdot, \cdot)$: 生産関数

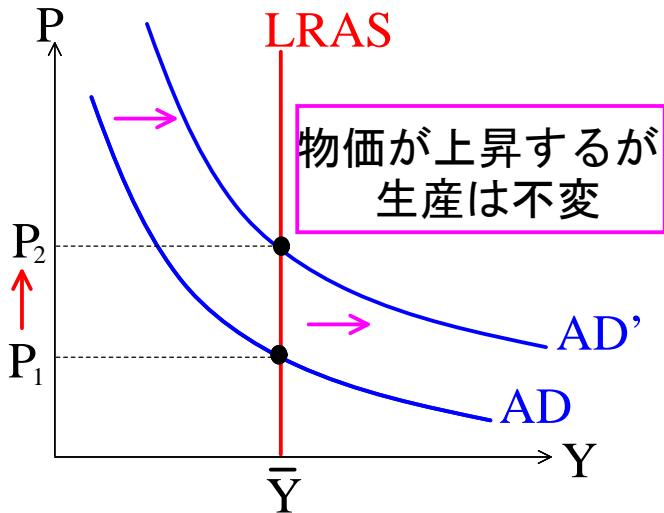
⇒ \bar{Y} は _____ と関係がない

⇒ LRAS 曲線は、 _____

長期の総供給 (2/2)



金融緩和 ($M\uparrow$) の長期効果



短期の総供給 (1/2)

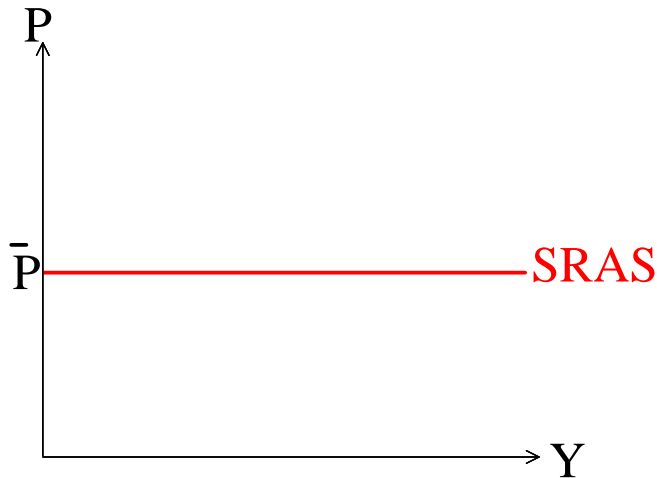
短期の総供給曲線 (Short-Run Aggregate Supply curve) : _____ と経済の総供給の短期の関係を表す (SRAS 曲線とも書く)

_____ の仮定 : 価格は一定に固定

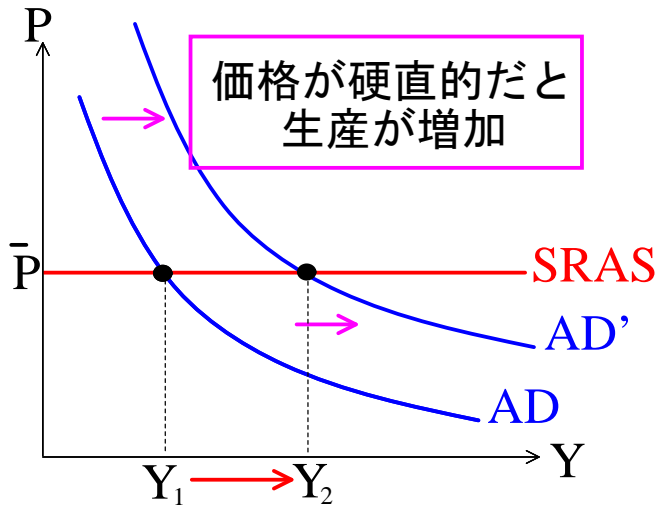
企業は、与えられた価格水準で、顧客が望むだけ販売しようとする

⇒ SRAS 曲線は、_____

短期の総供給 (2/2)



金融緩和 ($M\uparrow$) の短期効果



失業に関するインプリケーション

長期のモデル：

- ▶ 失業は、 _____
⇐ 賃金が _____ だから、労働の需要と
供給も一致

短期のモデル：

- ▶ 金融緩和で、生産が _____
⇒ 生産に使用している労働も _____
⇒ 失業は _____ (**オークンの法則**と関連)

より一般的な短期の総供給曲線 (1/2)

ここでの短期の総供給曲線は _____

⇐ すべての財の価格が一定 (極端な仮定)

より緩やかな価格硬直性の仮定 : 価格伸縮的な企業と価格硬直的な企業が混在

⇒ このとき、SRAS 曲線は _____

(詳細はカット)

- ▶ 金融緩和で _____ と _____ の両方が増加
- ▶ 失業は _____

より一般的な短期の総供給曲線 (2/2)

